



第215号

平成26年2月

発行 磐梯町議会
福島県耶麻郡磐梯町
大字磐梯字中ノ橋1855
☎0242-74-1219
編集 議会広報委員会



新春町民交歓会にゆるロボキャラ初登場！

冬号

12月定例会・10月／1月臨時会

* 条例・補正予算・請願……………	2～ 4
* 一般質問……………	5～11
* 臨時会・報酬改定……………	12
* 行政視察調査報告……………	13
* みんなの声……………	14

12月定例会

子育て支援を重点に補正予算可決

平成25年12月定例会は、9日から13日までの会期で開催され、条例改正や補正予算など町提出の全11議案が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

ゆめ夢基金条例を改正

青少年の健全育成、子育て支援等を推進するためのゆめ夢基金に、特別職、職員、議員の報酬・給与の臨時特例減額措置分を財源として積み立てることになりました。

※臨時特例減額措置
地域経済活性化のため、8月から7カ月間の報酬・給与の減額

質疑

問 財政調整基金ではなく、なぜゆめ夢基金に積み立てるのか。

答 特例減額措置の財源を生かし、重点的施策である子育て支援に活用したい考えです。

〈賛成6 反対2で可決〉

諸収入金の延滞金徴収条例を改正

分担金、使用料、加入金、手数料及び過料等の延滞金について、利率が引き下げられました。併せて後期高齢者医療と介護保険の延滞金も同様に改正されました。

1カ月未満	年7・3%
1カ月超	年14・6%
←	
1カ月未満	年2・9%
1カ月超	年9・2%

質疑

問 これまでに延滞金を徴収した件数は。

答 税では何件かあるが、諸収入金ではこれまで該当がありません。



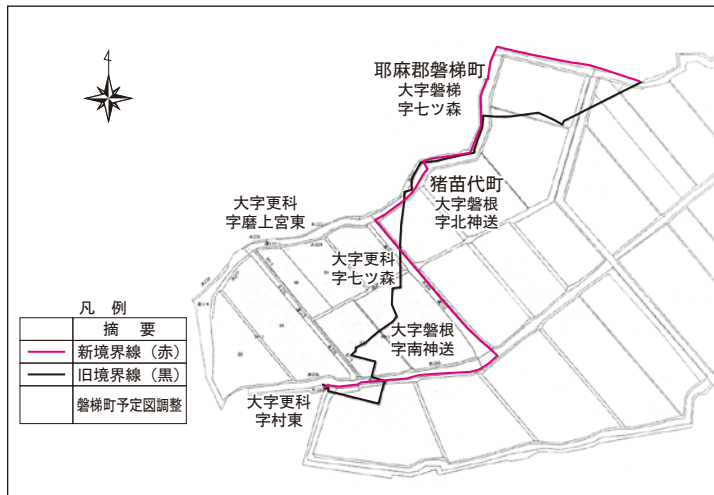
(二小)

小学6年生が傍聴



(一小)

町の境界変更



猪苗代町田北地区の
県営農業農村基盤整備に
伴い、両町及び土地改良
区をはじめとする関係団
体並びに県との協議が整
ったため、両町の境界を
変更するもので、面積の
変更はありません。



補正予算の概要

質疑

問 保育所のおむつ処理の対応はどうなっているのか。

答 衛生面的に室内には置けないため、新たに出入口を作り屋外に置くよう改修し、新年度からはおむつを各自持ち帰らず、保育所で処理できるようにします。

問 防犯灯新設は全部で何基になるのか。

答 各行政区から要望をとったところ、全体で49基となり、電柱に設置するタイプのLEDを今回に限り町費で新設します。

問 小中学生のアルツスキー場リフト代無料化の人数と、対象範囲は。

答 磐梯の小中学生合計285人の予定ですが、磐梯町から町外の学校に通う児童生徒も対象となるよう進めます。

会 計	補正額	補正後の予算総額	主な内容
一般会計	△1033万7千円	45億2256万8千円	法人町民税減・国庫補助金・まちづくり交付金事業債・ゆめ夢基金積立
介護保険		4億6276万3千円	介護サービス給付費増(予備費減)
簡易水道	△10万4千円	1459万2千円	職員給減
水道事業(収益的支出)	61万1千円	1億538万4千円	電算システム導入費
農業集落排水事業	△10万9千円	3500万1千円	職員給減
公共下水道	△7万2千円	1億2471万円	施設電気料増・職員給減

を 政 問 町 (一般質問) う

(登壇順)

— 遠藤 将夫 議員 —

1. 松山地区の開発事業について
2. 既存の温泉保養施設について

— 坂本 一益 議員 —

1. ふるさと納税の取り組みについて
2. 地元建設関係事業所の育成について
3. 特産品開発とその育成について

— 齋藤 博 議員 —

1. 空き家対策の施策について

— 佐藤 貞夫 議員 —

1. 日知坂の駐車場建設に伴う事故防止対策について
2. 不動産の寄附行為に対する対応について

— 穴澤 勝俊 議員 —

1. 農村公園活用について
2. ふるさと納税について

— 鈴木 和意 議員 —

1. 社会福祉政策の改善と支援対策について
2. 町振興計画の見直しと具現化について

— 古川 忠明 議員 —

1. 西部地区の総合地域開発について

町長の行政報告

保育所完全給食

3歳児はこれまでご飯を持参していましたが、10月から炊き立ての温かいご飯の完全給食となりました。

米の全量全袋検査

昨年に引き続き、生産されたすべての米の放射性セシウム濃度検査を実施しました。11月末時点でほぼ100%の米が、測定下限値の25ベクレルを下回りました。

農産物P R事業

福島第一原発事故に伴う風評被害払拭のため、福島県農林水産物P R支援事業補助金を財源として、11月10日川崎市のスーパーマーケットや、11月17日大阪府万博記念公園で農産物P R事業を実施し、いずれも大反響の中P Rすることができました。

請 願

次の請願が採択されました。

■ 2014年度教育予算の充実と教職員定数の改善を求める意見書提出の請願
(福島県教職員組合北会支部)

■ TPP交渉に関する請願
(あいづ農業協同組合)

■ 免税軽油制度の継続を求める意見書提出の請願
(磐梯リゾート開発株式会社)

意見書

議員提出の意見書が可決され、関係機関に送付されました。

□ 2014年度教育予算の充実と教職員定数の改善を求める意見書

□ TPP交渉に関する意見書

□ 免税軽油制度の継続を求める意見書

□ 東京電力福島第一原子力発電所における汚染水問題の早期解決を求める意見書

一般質問

— 遠 藤 将 夫 議員 —



松山地区宅地開発の地質調査の結果は

(町長)

全体的に軟弱地盤であると考察される

【質問】松山地区は地域からの請願が採択され、町は基礎調査費を予算化、検討委員会を設置し事業の推進を図るべく検討をしてきたが、基礎的な地形測量と地質調査を24年11月末に実施した。

町は基本的に民間活力を導入し行政と民間の役割分担を明確にし、土地の利用計画を推進する考えとのことだが、測量の結果はどうだったのか。また、その成果に基づき、民間の開発業者と協議をしたのか。

さらに、町は松山地区と西部開発地区に宅地開発を考えているが、今後、第三セクターの七ツ森地区の宅地販売と、どのように整合性を保つのか。

【町長】面積は1万4600㎡、東西の高低差12mで、深さ10mの地質調査を3カ所行なった結果、一部地表面で地下水が確認され全体的に軟弱な地質であると考察されます。

また、松山地区開発調査

検討委員会では、行政と民間の役割分担や、開発後の管理体制などについて検討し、基本構想を提言していただき、それから開発業者を選定し協議することになりますので時間を要します。また、七ツ森地区は自然豊かで、若者たちが自然に合ったライフスタイルを楽しめる特色ある地区として、松山地区は町の中心地で、駅に近く利便性の良い地区として開発をしたいと考えます。

アルツの温泉保養施設を存続するのか

【質問】震災で利用できなくなった温泉保養施設の今後の建設予定を模索するため予算化し、早急に適地の確保に向けて事業の推進を図るべきではないか。スパアルツは再利用できない負の遺産であり、財産を処理する時期にきているのではないのか。



松山地区（平成24年3月調査）

一市二町一ヶ村組合、磐梯清水平開発、磐梯リゾート開発、磐梯町の四者の出資で建設されたが、これまでどのような協議をされたのか。一部解体か、再利用か、全て解体か、それらの見積もりをしたのか。

また、再利用に耐えがたい場合は最終的には行政のリスクとして、町負担で解体すべきと考えるが。

【町長】施設は震災直後一部修理し営業を再開しましたが、現在は磐梯山温泉ホテルを利用しています。

この間、四者で再開に向け、震災復興支援事業などの補助制度の採択に取り組んできましたが、条件的に厳しく、しかし現在も助成制度の採択に向け、官民一体で交渉を行っています。

解体や建設事業費などの見積もりは、関係機関との協議が整っていません。

また、四者の所有物であり、町だけが100%リスクを負う施設ではないと考えます。

一般質問



坂本 一益 議員

ふるさと納税の拡充制度を活用しまちづくりにつなげよ

(町長)

寄附者に町特産品など送付できるよう充実を図る

地元事業者の育成を図れ

【質問】今、ふるさと寄附金で市町村の特産品がお礼にゲットできるとして人気が出ています。品物が目的か応援が先かの議論もあるが、この拡充制度をチャンスと捉え、応援を受ける手法を改善すべきではないか。

【町長】現在、ふるさと寄附金者に対しては、磐梯山慧日寺資料館の入場券と磐梯弘報を1年間送付しています。今後は磐梯町のさらなるPRを目指し、収穫時には特製袋で梱包された町産の新米や、商品開発された特産品の送付など、制度の拡充に向けて工夫していきたいと考えます。

また、情報発信として県内はもとより、広く国内へ向けホームページの充実や観光PRなど総合的な取り組みの中で対処してまいります。

特産品開発の育成を図れ

【質問】地元建設関係事業所の育成は、公共工事である以上、発注に係る手順は公平な手続きで入札に至っていることは承知しているが、磐梯町の公共工事の業者選定のランク付けを、地元業者育成とまちづくりの観点から改めることが必要ではないか。

【町長】評価点数については町独自の格付け基準点数により格付けしています。東日本大震災に係わる復興が業者の人手不足等によりなかなか進まず、県では復興を早期に進めるため、格付け基準を見直していますので、町でも今後見直しを図り、事業推進に努力してまいります。

【質問】町では特産品開発委託事業、特産品開発プロジェクト事業補助金、磐梯ブランド認定品募集の制度を創設し、現在、制度を利用して何件かの取り組みが進行形である。今後の充実進展がどのようになされるかで特産品の定着と発展につながるかが重要だが、開発された商品の大量生産のための機器、設備の補助の必要性についてどう考えるのか。

【町長】現在、委託事業と補助金事業で9つの特産品が開発されていますが、この中で新聞報道された磐梯山ころっけは、他の事業者からもぜひ扱いたいとの話も町政策課に届いています。

この状況をさらに加速させるためにも支援態勢の確保、確立は不可欠であると考えます。

国では六次産業化支援事業として新商品開発や販路開拓に係る機械、施設等の整備を支援しており、補助

率も定額から3分の2となっています。また、県の六次化復興支援事業も来年度も実施されると思われるので、これらを活用しながら今後の特産品開発を進めてまいりたい考えです。



おもてなしおにぎりセット
(磐梯山ころっけ・みそおにぎり・しそおにぎり)

一般質問

— 齋 藤 博 議員 —



空き家対策の施策は

(町長)

今後調査研究し、検討したい

【質問】 町内ではいろいろな理由により各集落で空き家が増加しており、少子高齢化の影響が空き家として放置され、地域の環境や崩壊危険のある空き家が発生している。この状況は全国的にも同様であり、これから取り組むべき課題で、空き家の調査、戸数、危険状況等を把握しているのか。空き家対策として空き家バンク制度を創設し、空き家の有効活用を図るため、貸し手（売り手）と借り手（買い手）間の仲介を始めてはどうか。住みよい安全で、安心なまちづくりを進めることは町民の願いでもある。どのように取り組んでいくのか。

【町長】 11月の火防検査時に消防団と行政区の協力を得ながら空き家戸数の調査を実施しました。空き家戸数は98戸で、すでに取り壊しが確認できたものが4戸です。管理状況は、所有者の方が定期的に帰省し管理している家もあれば、管理

が行き届かない建物もあるのが現状です。

防犯、防災の対策は現在、各自自治体に任されているのが現状ですが、各自自治体の対応では限界があるため、空き家等の対策の推進に関する特別措置法が国会に提出される動きがあります。この法案は、空き家の撤去

を強制できる要件や、空き家を自主的に撤去する場合の固定資産税の軽減措置の導入が主な内容で、今後とも動向に注視してまいります。また、空き家バンク制度は空き家の再活用や定住対策の一つとして有効な手段であると考えます。空き家バンク制度は全国的にも多

くの自治体が開設しており、その中で行政と一体となり成果をあげている自治体もあれば、一方では開設以来成約がないといった自治体もあると聞いており、非常に難しい対策と思いますが、地域の活性化につながるものとして今後、調査、研究し、検討してまいります。



県が作成した会津地域定住パンフレット

一般質問



佐藤 貞夫 議員

大規模駐車場建設に伴う事故防止対策は

(町長)

出入口を一カ所にし、誘導員を配置させる

【質問】大寺六区から日橋川橋までは、カーブで坂道の地形のため冬の凍結で車の事故が起こりやすい場所である。その危険な道路沿いにシグマの駐車場が建設されれば、渋滞と交通事故の発生の危険性がさらに増すことが危惧されるが、シグマが建設する2つの駐車場の面積と収容台数を町は把握しているのか。

【町長】駐車場の面積は6278㎡、台数は244台収容できると聞いています。

【質問】駐車場への出入りによる渋滞と交通事故対策について、どのような指導をしているのか。

【町長】工事中は誘導員の配置と看板の設置を指示し、完了後は出入口を1カ所に

することを条件に許可しました。

【質問】町道を管理する町として、渋滞や事故に対する対策をどうとるのか。

【町長】道路パトロールと、融雪剤の散布を行います。

【質問】シグマでは、横断歩道設置を望んでいるが、

警察では一企業のための設置に難色を示していると思う。道路横断の必要性の高

いところには当然設置すべきであり、町から警察に横断歩道設置を働きかけるべきではないか。

【町長】シグマより相談があれば、警察や公安委員会と協議し対処したいと思います。



日知坂から日橋川橋方面

不動産の寄附の活用を

【質問】過疎化が進み老人世帯や一人暮らし世帯が増加し、同居者がいなければ、施設に入所しやむなく家を手放さざるを得ない家庭が多くなっている。自宅をはじめ不動産すべてを町に寄附したいとの申し出があった場合、町ではどのように対処しているのか。

【町長】不動産の寄附を受けければ必然的に維持管理費がかかり、取り壊し費がかかる場合もあるため、将来の構想や価値の判断も必要になると考えています。

【質問】町では利用価値のない不動産は、寄附を受けない方針であると聞くが、寄附の申し出があれば、一旦受付をして個別にしっかりと調査した上でできるだけ寄附を受け、その土地や家を管理する体制を創り、活用するべきではないか。

【町長】場所にかかわらず、土地の寄附の申し出があれば、有効に活用できる場合、関係課と協議して対応します。また調査、審査を行います。また専門家とも相談をして管理体制を検討します。

一般質問

— 穴 澤 勝 俊 議員 —



農村公園の今後の活用をどのように考えているのか

(町長)

地域のニーズを踏まえ、整備してまいりたい

【質問】農村公園は8カ所の行政区に設置されており、各行政区に管理を委託しているが、利用状況を見るとほとんど公園としての活用がなされていないのが実態である。

今後子供が増えてくる行政区には遊び場として活用してはどうか。また、遊具等を設置すれば、子供と一緒にに大人も遊べる場所として活用できるが、どのように考えているのか。

【町長】農村公園は全集落から公園整備の要望が高かったため、健康増進と憩いの場の提供を目的に整備しました。

平成元年から8年度に農村総合整備モデル事業により整備した5カ所については、簡単なベンチ等の休憩施設と併せ、幼児児童対象の遊具も整備されています。

しかし、平成18年度に中山間地域総合整備事業で整備した3カ所については、国の実施要領により整備できる施設がベンチ、水飲み

場、管理施設、トイレ、照明施設、植栽等と限定されたために、遊具等は設備していません。

農村公園は、整備の目的を十分果たしてきたものと判断していますが、利用状況と地域のニーズを再検討し、現代のニーズを十分に踏まえて、地域から求められている施設の整備に当たってまいります。



大寺農村公園の遊具

ふるさと納税のPRに 問う

【質問】最近、広告、新聞、インターネットのホームページで、ふるさと納税をPRする自治体が増えている。磐梯町もまちづくりの基本理念である、温もりと活力

あるまちづくりをテーマとして町を応援していただくために、ふるさと納税制度の活用をホームページで全国的にPRしてはどうか。

また、寄附をいただいた方には、金額に応じた町の特産品等を贈呈品として届けるようにすれば、町のPRに繋がると考えるが。

【町長】インターネットや新聞報道等によるユニークな贈呈品を、寄附された方に届ける自治体があることは承知しています。

現在、町ではふるさと寄附金者に対し磐梯山慧日寺資料館の入場券と磐梯弘報を1年間送付しています。今後も磐梯町のさらなるPRを目指し、磐梯町特産品の送付等を検討していきたいと考えます。

一般質問



鈴木和意 議員

国保における基金積立金の有効活用が必要では

(町長)

本町国保財政の安定的な運営が図られるよう保健事業に取り組む

【質問】国民健康保険制度が県単位に広域化されることに伴い、保険税が一元化されれば負担増は避けられない。町民の保険税から積み立てた基金は広域化に伴い、設置目的が達せられないものになるのではないか。高い国保税負担軽減に運用することが望まれる。

【町長】国保の県移行に向けて市町村の基金の運用など方向性は全く示されていません。平成29年度を目途に県への移行時期までに、制度設計が行なわれることとなり、県と市町村の役割分担を含め広域化についての議論の推移を注視していきます。また、広域化までの間も本町国保財政の安定的な運営が図られるよう、こ

れまでどおりの基金運用や保健事業に取り組んでまいります。

【質問】町長は平成26年度から幼稚園児の早期預かりを実施することを約束されたが、予算執行も含めどのような対応で実施されるのか。

【町長】子育て支援と保護者の就労支援、さらに幼児教育の充実を両立させられるよう取り組みなければならぬと考えており、26年度からの実施に向け、現在教育委員会と協議検討を重ねているところです。

【質問】保育所の保育児童数が条例で定める定数を大幅に超えており、途中入所など困難な状況である。さ

らに途中退所などが発生し、保育における公的責任が問われている。これを早期に解消するには施設の拡充と保育士の待遇改善が必要ではないか。

【町長】平成15年度からの幼小中一貫教育の実施に伴い、定員が現在の50名になったところですが、施設の規模、収容能力的には問題はありません。それでもこ

こ数年は途中入所などにより児童数が増加傾向のため、保育室の増設や乳児室の増築工事などを行ない、児童数の増加に対応しています。また、児童数に応じた保育士や給食関係職員を配置し、突然の途中入所希望の際も臨時保育士の増員により保護者の希望に添えるよう対応しており、現在のところ待機児童はない状況です。

【質問】平成25年度新たにスタートして振興計画を進めているが、現時点における計画と進捗状況はどのようなものか。またその整合性はとれているのか。

【町長】振興計画は時の流れ、まちづくりを進める中で、見直しを図る必要が生ずるところもでてくるため、政策課において計画作業に今取り組んでいるところです。今年度の成果はまだ確定できていませんが、今年度の事業については予算確定時期に策定したため、整合性はとれていると考えています。



保育所のような

振興計画の見直しと進捗状況は

一般質問

— 古 川 忠 明 議員 —



西部地区の総合地域開発計画の進捗状況は

(町長)

年度末まで基本構想まとめ、具現化に努力する

【質問】西部地区における規模の大きな開発は地域住民の長年の願いである。東部、中部の開発が優先され西部が取り残されているのではないかと多くの声を聞く。前町長時代に西部リーディングプロジェクトの開発計画が提案された内容は、磐梯ふるさとの森公園から落合地区までの間に道路を整備し、運動公園施設、住宅地造成、技術研修施設などの整備計画があったようだが、現在検討されている計画はどのようになっているのか。

【町長】過去にゾーニング計画したものは、当時地域の方々から優良農地であるということ、実現できませんでした。今の時代の現実にあった計画を立てていかなければ、実現に結びつかない部分もあり、基本として地域の方々の意見を取り入れながら、将来の西部地区を見据えた中で計画していきたいと考えます。すべての開発の前提条件

として基幹道路を一本通すことが先決で、そこから住宅用地や産業用地等のニーズが出て、またコンサルタントのアドバイスを待たずに、磐梯町において西部地区がどういった計画構想を具現化していくのが一番よいのか十分に見据えたうえで作業に当たりたい考えです。

また、企業立地のニーズの把握も必要であり、地元企業からの聞き取り調査など実施してきています。

計画構想の策定作業を現在進めており、年度末には基本構想がまとまる予定ですので、もうしばらく時間をいただきたいと思っています。それから西部地区開発検討委員会を立ち上げるようになります。より良い西部地区の開発の具現化に向けて努力してまいります。

基本施策 4-2 やすらぎと品格のある快適な住環境づくり

施策の方針

歴史・文化が豊く品格ある街づくりと自然に調和した憩いとやすらぎのある環境づくりを推進します。また、居住性が高く、快適で安全に暮らすことができるための生活基盤の整備を推進します。

現状と課題

- 磐梯町は、磐梯町を中心とした金沢私教文化が育まれた地域であり、その特徴は国の史跡として指定され、復元された金沢おみやげ街はまちづくりのシンボルとして活用されています。
- こうした歴史・文化を誇りとしてふさわしい街づくりは、観光資源としてのみならず、歴史・文化が豊く暮らしに伝わることから、その整備を推進していくことが重要である。
- 公園・緑地については、町内に森林公園である「おのり公園」のほか、農村公園が8か所整備されていますが、中には老朽化してきている公園もあり、整備が必要です。
- 若者の定住対策として、若者向け公営住宅の建設を進めてきた結果、複式家族が解消されるなど一定の成果を上げてきました。一方で、それらを兼ねた公営住宅の世帯数に対する割合が低く、今後も、民間による住宅建設を促進し、若者の定住拠点となる住宅の確保を図っていく必要があります。
- 上下水道では、磐梯地区の整備により未給水地区は解消され、下水道でも磐梯地区の排水事業により整備が完了しています。今後は下水道未給水地区への加入促進および排水処理の入れ替えなど施設設備の適切な維持管理を推進していく必要があります。

施策が目指す姿

- 金沢私教文化発祥の地にふさわしい憩い・品格のある街づくりが、歴史・文化が豊かになっています。
- 自然を活かした公園・緑地では、子どもや家族連れなどが楽しそうに遊び、やすらぎの時間を過ごしています。
- 生活の場として、快適・安全な住まいと暮らしが確保されています。

具体的な取り組み

4-2-1 品格のある街づくりの推進

より磐梯町から遠く離れた、磐梯町中心に磐梯町おみやげ街の道端や民家・商店等について統一感のあるおみやげ街を整備・誘導し、金沢私教文化発祥の地にふさわしい憩い・品格のある街づくりの形成を図ります。

4-2-2 公園・緑地の適正管理

豊かな自然環境や市民の憩いの場を生かした緑地の整備を推進するとともに、既存公園・緑地の適正管理を推進します。

4-2-3 住宅の整備促進

公営住宅の整備や賃貸住宅の整備促進等により、民間住宅の整備を促進するとともに、町内若年世帯をはじめ若者等の定住促進を図ります。また、住宅の耐震化を促進し、安全な住環境の確保に努めます。

4-2-4 上下水道の適正管理

上下水道施設・設備の適正な維持管理を行うとともに、未給水地区への働きかけを行い、加入率の向上を図ります。また、下水道料金体系の統一に向けた見直しを行います。

大田地区公営住宅

監査委員人事



新たに瀬田晃旬議員が
監査委員に選任されま
した。(2月1日～)

臨時会

1月31日

◆一般会計補正予算

- ・歳入 児童福祉県補助金 324万円
- ・歳出 (右補助金を財源とする) 保育料徴収等システム費 324万円
- 地域活性化センター改修設計委託料 110万円

臨時会

10月31日

◆一般会計補正予算

- ・歳入 震災復興官民連携支援事業国庫補助金 1500万円
- ・歳出 (右補助金を財源とする) 門前町集落交流施設整備計画調査委託料 1600万円

臨時会

1月17日

議員・非常勤特別職・消防団員報酬 町三役給与を改定

非常勤特別職・消防団員報酬を引き上げ

◆教育委員、農業委員、監査委員等の報酬年額が平均で3・7%、6400円引き上げられました。

また、各種委員等の日額報酬は、これまで区分により異なる額でしたが、委員長職が7000円、委員が6500円に統一されました。

◆消防団員の報酬年額が平均で13・5%、8300円引き上げられました。また、特殊勤務手当は出勤手当1回1000円に統一されました。

町三役給与・議会議員報酬(月額)は引き下げ

◆町長 717,000円 ↓ 695,000円 (△3・1%)

副町長 579,000円 ↓ 570,000円 (△1・6%)

教育長 549,000円 ↓ 540,000円 (△1・6%)

◆議長 265,000円 ↓ 260,000円 (△1・9%)

副議長 215,000円 ↓ 211,000円 (△1・9%)

委員長 200,000円 ↓ 197,000円 (△1・5%)

議員 (常任委員長・議会運営委員長) 193,000円 ↓ 190,000円 (△1・6%)

平成25年 議会開催の概要

平成25年 1月1日～12月31日

区 分	会期 日数	会議 日数	付 議 事 件 数										一般 質問	傍聴者
			町長提出					議員提出				請願		
			条例	予算	決算	専決 処分	その他	意見書	決議	条例	その他			
定例会 (3・6・9・12月)	29	20	26	32	12	2	15	11	1		2	6	30名 58件	66名
臨時会 (10回)	10	10	2	8			4			1				2 名

行政視察調査報告

特徴ある地域づくりや地域活性化施策に積極的に取り組んでいる先進町村を、視察調査してきました。

調査月日 10月23・24日

広島県安芸太田町

平成16年2町1村が合併、総面積242km²、人口7151人、財政規模78億円、議会議員12名、高齢化率46・01%、3335世帯

【自然豊かな安芸太田町で子育てしませんか】

広島市中心から1時間弱の距離にありながら町全体が森林セラピー基地になるほど自然豊かな町です。町の面積の88%が森林で、安芸太田町森林セラピーは広島県で初認定されている。（全国で53の森）

若者対策として子育て世帯定住応援制度や子育てしやすい環境づくりに、観光振興対策では森林セラピーや田舎体験、民泊、教育体験旅行の誘致など実施し、情報発信に努力している。

広島市内の自動車関連企業、造船、海上自衛隊基地等に通勤している町民に高速道路通勤費補助制度の定住対策の施策がある。

また、定住促進団地造成し、宅地分譲価格55%割引などいろいろなセットで各種助成をしている。

平成25年度からUターン世帯定住応援対策事業がスタートした。



安芸太田町は、若者定住対策にUターン、Iターンのための施策が重点的に取り組まれ、過疎化と高齢化率上昇に歯止めを掛けようと努力されておりますが、当町も遅かれ早かれ、人口減少と農業従事者の高齢化が見込まれるので、住みやすいまちづくりや、定住促進と子育て世帯の支援強化並びに魅力ある農業の構築に取り組んでいかなければならないと感じました。

〔報告・齋藤博総務文教厚生委員長〕

広島県熊野町

180年余りの歴史と伝統を誇る伝統的工芸品「熊野筆」があり、毛筆・画筆・化粧筆の国内生産の多くを占める「筆の都」として発展してきた町。人口2万5千人、議会議員16名

【産業・観光振興に関する町の取り組み】

広島駅ビル内に熊野筆のアンテナショップを設け、商品販売及び消費者動向調査、新製品開発のためのニーズ調査を実施。東京（銀座）の広島ブランドショップ内に首都圏における熊野筆の情報発信拠点としてアンテナショップを開設し情報発信事業を行っている。

また、町の観光資源や熊野筆を積極的にPRするため、筆の里工房や全国書画展覧会等の広報・誘致・営業活動、学校・書道教室等への社会見学の誘致等の宣伝活動、新たな観光ルート・バスツアーの造成等を実施。

さらには、熊野町から全国に向けて情報発信するため、熊野町のゆるキャラ「ふでりん」を活用し、地域のイベント情報を発信し、熊野町の観光等をPRしている。



筆づくりのようす

今回の視察調査で、学んだことは、いかに磐梯町の観光資源を全国にPRしていくか、また、首都圏だけでなく、その他の主要都市にも情報発信拠点を設けていくかが、今後の課題と考えます。

〔報告・穴澤勝俊経済環境委員長〕

みんなの声



落合区長

佐藤 重信さん

私達が住むここ磐梯町西部地区において、感じることもある。「磐梯町の印象」は、と知人に尋ねると「暗い印象の町」と答える人がいます。なぜでしょう？また皆さんは、どのように感じておりますか。

夜間、県道7号線塩川（猪苗代線（第二発電所）道の駅）を車などで通る際、あまりの外灯設置の少なさに驚き、その様に感じるのだそうです。

県道で外灯が設置されている箇所は上り、下りの道路両脇には、第二発電所から磐梯町赤枝信号まで4カ所、落合の信号から下西連地区まで4カ所、下西連から入倉地区まで4カ所、入倉から道の駅の間2カ所といった状況です。

この問題は一度私達の地区内でも過去の区長経験者の方より話題となったことがあったと記憶しています。

現在設置されている箇所はすべて各地区の行政地区内一部の区間のみで、地区から地区の間で道路脇の電柱等には、ほんの数基しか設置されていない状況です。この区間は、町への通勤や通学路等で利用する町の主要道路です。

ちなみに第二発電所から塩川町の信号交差点までの外灯設置箇所は27カ所でした。

しかし、これら外灯設置は各行政区での負担は財政上どの地区も厳しいものがあり、行政区での負担はできないのではないかと感じます。

安全面、治安の上でもこのままでもいいのでしょうか。町議会ですら一度現地の現状を確認してもらいたいと感じました。

誰からも良い印象を持ってもらえる町づくりの取り組みを、県や町で検討し早期設置依頼を希望したいものです。

次回の定例会は3月上旬に行なわれます

ぜひ傍聴においでください。

手続きは、3階議場入口で住所氏名を記入するだけです。

※くわしい日程は後日テレビ電話告知等でお知らせします。

南会津町議会視察来町



11月15日南会津町議会雇用と企業誘致に関する特別委員会5名が、企業誘致と若者定住促進事業について視察に訪れました。

編集後記

昨年は地球温暖化の影響なのか、日本にも大型台風が来襲した。また、竜巻、強風、水害、大規模地滑り等、多々自然災害が発生し、年々規模が大きくなるように感じます。

町の大事業である中学校建設が東日本大震災復興事業の建設ラッシュにぶつか、工事工程途中、建設作業員確保（型枠・鉄筋技術者等）が不足状態で工事遅れが出て、計画の年度末に完成出来ない状況ですが、工期にこだわらず将来に悔いのない理想の校舎に仕上げていきたい。

百年の計に基づく立派な教育施設の中で、磐梯町の子供たちが勉学に励み、素晴らしく、素直に育ち、社会に貢献してほしいと思うところでもあります。

議会広報もマンネリ化せず、常に進化して紙面に工夫をして皆様に届けていくように努力して参りますので、よろしくお願い申し上げます。（文責 齋藤 博）

議会だより	
発行責任者	
議長	穴澤 保
広報委員会	
委員長	佐藤貞夫
副委員長	瀬田晃旬
委員	坂本一益
委員	齋藤 博